

私のお籠り生活

狭山市民美術協会 副会長 角川照江

今年突然世界中を震撼させた新型コロナウイルスが猛威をふるっています。辛うじて狭山市民芸術祭は開催されましたが、その後すべての公民館活動が中止になりました。

私は数年前からマスクを手作りしていました。今までは風邪予防と花粉症対策で連休近くまでマスクが必要な人もいました。このコロナ禍で外出時はマスクが必需品になり、毎日のマスク作りが始まりました。

2月にはマスク用ゴム紐とガーゼをあちこちの店を探し回りました。その後3月になると白のミシン糸も店頭から消えました。手元にある薄い色の糸を生地に合わせてその都度替え、白糸を大切に使っています。

やがて使い捨てるマスクも高額になり手作りマスクを知人に差し上げると喜ばれ、ますます創作意欲が湧いてきました。

長かった緊急事態宣言も解かれ、学校や幼稚園・保育園も始まりましたが特に幼児のマスクは手に入りやすく、小さいお孫さんがいる友人に頼まれるようになりました。男児用には乗り物や恐竜柄、女児用にはお花や蝶の柄など、夏になると金魚の絵柄など生地を探し大人の物を作るより楽しみました。



7月からレジ袋の有料化に伴い、エコバッグを作ると頼まれ、未だ作ったことがなかったのでネットで横マチ付きの作り方を検索し、色々な大きさあまを模索しながら作りました。和服リフォームをしているので雨ゴートや、着物の残り布も利用しています。折りたたんで内ポケットに差し込むと丁度手の平サイズになり、携帯しやすい物が出来ました。

このように少しでも人の役に立つことは嬉しいのですが、早く従来の日常が戻ることを願いつつこれからも続けていきたいと思っています。



編集後記

- ★ 1ヶ月も降り続いた梅雨があけたら連日の猛暑。新型コロナウイルスで活動休止の私の楽しみな家庭菜園も干上がり、里芋の葉も黄色く枯れてきて、当地だけ雷雨も少なく、うらめしく空を見上げる毎日でした。
- ★ 私の関係する民謡協会の年1回8月の発表会40回目の節目も来年に延期。多くの会員が私と同じ80才代、一年の延期は高齢者として残念でなりません。
- ★ 各団体も活動休止で、実績の記事が書けません。今後の展開も不透明なので代表的な会に寄稿してもらいました。特にこれがプロの場合は深刻です。「雪女幻想」で出演下さった劇団大樹の川野誠一さんから苦悩の思いを寄稿して戴きました。
- ★ 来年2月の市民芸術祭の実行委員会も立ち上がりました。不安の中の立ち上げですが、次の「桜まつり」も安心して実施したいものですね。

(高沢正夫)